



プリマダイヤモンドバー
Predator Zirconia Diamonds

プレデタージルコニア

クラウン除去用ダイヤモンドバー ジルコニアでも切れ味長持ち！！

ジルコニアでも高い切削力を維持できます。

メタルボンドクラウンなど他の補綴物でも高い切削力を発揮します。

特殊接着によりダイヤモンド粒子がはがれにくくなっています。

消耗率が低く高いコストパフォーマンスを実現。

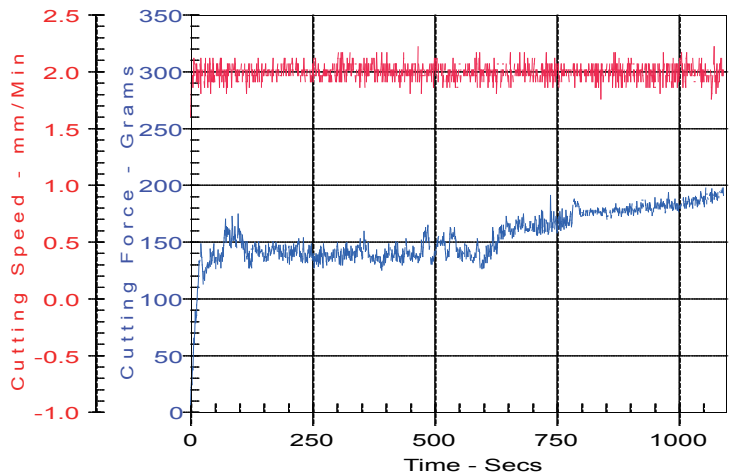
タービン (400,000rpm) での切削

補綴物表面に亀裂を伴う事はなく、鋭利な切削断面を示す。

プレデタージルコニアの表面性状により、切削時におきる発熱や、補綴物表層の亀裂・破折を極力抑えることができ、ジルコニアクラウンに限らず、メタルボンドクラウンやメタルクラウン等の補綴物の除去に使用することが期待できる。



プレデタージルコニア Z856-018M を使ったカッティングテスト
同じ切削速度を維持しても切削力は落ちにくくなっています



赤：カットスピード (mm/分) 青：カットに必要な力 (gram)

Predator Zirconia Diamonds

商品名 プレデタージルコニア

医療機器届出番号 13B1X00133000031

Z801-018F, Z856-018F, Z862-014F, Z368-023F (F ファイン)

Z801-018M, Z856-018M, Z862-014M, Z368-023M (M ミディアム)

標準価格 各6,000円 (税別) /5本入

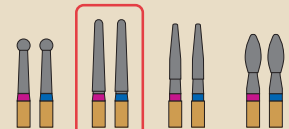


FIG NO.	801	856	862	368
DIAMETER 1/10 MM	018	018	014	023
H/LENGTH(MM)	-	9.0	7.0	5.0
FINE (ファイン)	●	●	●	●
MEDIUM (ミディアム)	●	●	●	●

NEW

初めて使われる方のために1本入りが新たに加わりました。

★ Z856-018F, ★ Z856-018M, 標準価格 各 1,300円 (税別) /1 本入

記載されている価格に消費税は含まれません。また、商品の内容・価格・仕様・デザイン等を予告なく変更する場合があります。無断転載禁止。

お問い合わせは



販売元：クロスフィールド株式会社

〒130-8516 東京都墨田区江東橋1-3-6 TEL 03-5625-3306 FAX 03-3635-1060
URL : <http://www.crossf.com> E-mail : cf@yoshida-net.co.jp

製造販売元：株式会社吉田製作所

プレデタージルコニア

ナカエ歯科クリニック 院長
(神奈川県葉山町)

前畑 香

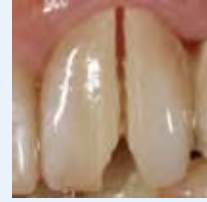


プレデタージルコニア VS. 補綴物

近年、審美治療の増加、オールセラミックスのコーピング材の進歩とコーピングを作製するCAD/CAMの機能向上、また歯科補綴物に使用する金属の高騰などにより、補綴物にオールセラミックスを選択する傾向が強まっている。さらには、オールジルコニアの補綴物の作製も可能になった。

物性と技術の向上によりもたらされた、壊れにくい頑丈な補綴物を“装着”するだけでなく、緊急的な“除去”も視野に入れる必要がある。

プレデタージルコニアは、オールセラミックスに止まらず他種の補綴物の切削・除去、あるいは調整に使用でき、圧倒的な切削効率を持つ。



オールセラミックスクラウンの切削。
支台歯の唇舌側全周の到達は1分半~2分程度を要した。



オールセラミックスクラウン切断面。チッピングはほぼなく、鋭利な断面である。



メタルボンドクラウンの切削。鋭利な切り口が確認できる。



白金加金クラウンの切削。容易に金属の切削が可能。



技工用ハンドピースを使用し、デンチャーのクラスプ内面等の調整。(30,000rpm以下で使用)

各種バーによるオールセラミックスの切削比較

オールセラミックスはコーピングにアルミナ、ジルコニア等の強度なセラミックスを使用しているため、通常のダイヤモンドバーやカーバイトバーでの切削除去は非常に困難である。ジルコニアの切削除去にあたり、切削能力が劣るバーの使用は、不要な切削熱の発生による歯牙・歯周組織へのダメージ、作業効率の低下による治療時間の延長、バーのランニングコスト等に影響を及ぼす。

抜去歯牙に支台歯形成を施し接着性レジメンメントで合着したジルコニアクラウンを作製し、①プレデタージルコニアと類型のカーバイトバー、②プレデタージルコニア(ファイン)、③プレデタージルコニアと類型のダイヤモンドバーを使用し、5倍速コントラヘッド(200,000rpm)における補綴物切削量を、

頬側面観及び頬舌的切断面で比較をした。

切削結果、②プレデタージルコニアを使用した場合、ジルコニアコーピングの切削が確認された。③類型のダイヤモンドバーを使用した場合、築盛陶材とジルコニアコーピングの境界まで切削され、①類型のカーバイトバーを使用した場合、築盛陶材の切削に止まった。また、①類型のカーバイトバーの使用により、バーが接触した築盛陶材にチッピングが確認できた。

よってプレデタージルコニアを使用した切断面が鋭利であり、切削効率の良いことがわかる。

スピードを要す、緊急的な急性炎症による処置を念頭に、どんな状況下においても補綴物の種類を問わずに切削可能なバーの存在は、今後の治療に大きな働きをもたらすであろう。

